

軍第  
一〇  
號

經理局長



第四課



軍務局長



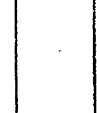
第一課長



局長



局長



大正九年

六月三十日起  
七月一日發付齊

軍務局長

横鎮金謀長

南洋支那船臨時支那

臨時南洋改修部所屬の建築材料 移運のため取直し臨時

新嘉坡の支那船の支那船の支那船

支那船

支那船

支那船

支那船

支那船

(同心堂納)

海軍

經理局長受

9.7.1

0304

不明

ニ重七拾五物件

トウチ 揚子石炭 二〇〇〇ト

バリヤ 揚子石炭 一〇〇ト

ヤラフ 揚子石炭 二〇〇ト

パチヤ 揚子石炭 二〇〇ト (石炭)

三、密蔵、サンパン、トウチ、ヤラフ、パチヤ

四、密蔵、七月中旬

大正九年

七月 三日

臨西防大長

軍務局長

大正九年

(職名)

(件)

海軍

0305

七月下旬臨時交通船トシテ日中郵船ニ他九ノ丸トテ去テラシテ予定  
 日船トトラシ、ハリス、セツア揚、石炭、三ノ高、此ハオ揚、運、計、務、科  
 二高、此ノ主、是、也、ヲ、揚、載、シ、往、復、ト、シ、サ、イ、ハ、ン、シ、テ、密、檢、ス、行、部、予、也、  
 決、也、殆、ク、予、也、報、ス、

(終)

(誠心録納)

海軍

0306

軍務局長 井出 第二師團長 島川 田中

大正九年 軍務局長

臨南防司令官宛

元報(可)

臨時新三也丸、行動予定く此に

七月廿日 横濱発 横濱行 廿一日 廿二日 廿三日  
 廿四日 廿五日 廿六日 廿七日 廿八日 廿九日 三十日  
 三十一日 八月一日 八月二日 八月三日 八月四日 八月五日  
 八月六日 八月七日 八月八日 八月九日 八月十日 八月十一日  
 八月十二日 八月十三日 八月十四日 八月十五日 八月十六日  
 八月十七日 八月十八日 八月十九日 八月二十日 八月二十一日  
 八月二十二日 八月二十三日 八月二十四日 八月二十五日 八月二十六日  
 八月二十七日 八月二十八日 八月二十九日 八月三十日 八月三十一日  
 九月一日 九月二日 九月三日 九月四日 九月五日 九月六日  
 九月七日 九月八日 九月九日 九月十日 九月十一日 九月十二日  
 九月十三日 九月十四日 九月十五日 九月十六日 九月十七日 九月十八日  
 九月十九日 九月二十日 九月二十一日 九月二十二日 九月二十三日  
 九月二十四日 九月二十五日 九月二十六日 九月二十七日 九月二十八日  
 九月二十九日 九月三十日 十月一日 十月二日 十月三日 十月四日  
 十月五日 十月六日 十月七日 十月八日 十月九日 十月十日 十月十一日  
 十月十二日 十月十三日 十月十四日 十月十五日 十月十六日 十月十七日  
 十月十八日 十月十九日 十月二十日 十月二十一日 十月二十二日 十月二十三日  
 十月二十四日 十月二十五日 十月二十六日 十月二十七日 十月二十八日  
 十月二十九日 十月三十日 十一月一日 十一月二日 十一月三日 十一月四日  
 十一月五日 十一月六日 十一月七日 十一月八日 十一月九日 十一月十日  
 十一月十一日 十一月十二日 十一月十三日 十一月十四日 十一月十五日 十一月十六日  
 十一月十七日 十一月十八日 十一月十九日 十一月二十日 十一月二十一日  
 十一月二十二日 十一月二十三日 十一月二十四日 十一月二十五日 十一月二十六日  
 十一月二十七日 十一月二十八日 十一月二十九日 十一月三十日 十二月一日  
 十二月二日 十二月三日 十二月四日 十二月五日 十二月六日 十二月七日  
 十二月八日 十二月九日 十二月十日 十二月十一日 十二月十二日 十二月十三日  
 十二月十四日 十二月十五日 十二月十六日 十二月十七日 十二月十八日 十二月十九日  
 十二月二十日 十二月二十一日 十二月二十二日 十二月二十三日 十二月二十四日  
 十二月二十五日 十二月二十六日 十二月二十七日 十二月二十八日 十二月二十九日  
 十二月三十日

七月	日起	察
七月	日	發電
七月	時	分

南洋の消息  
 臨時船隻等件通電甚多  
 在港布...

横濱行 一足所云 (他)

0307

(件)

7  
 北直  
 1/10  
 1/10  
 1/10

寫、海軍省經理局第四課、横須賀鎮守府、港務部

南各第 四九六號

海軍省軍務局

第二課 御 中

大正九年六月卅日

日本郵船株式會社

營業部 東洋課

一、南洋占領地臨時船三池丸行動豫定ノ件

今般御下命ニ基キ南洋トラツク、ヤツプ、パラオ行石炭及建築材  
 料運搬ノタメ弊社船三池丸重量四、三七〇噸容積四、七九〇噸  
 速力十哩、<sup>紅海</sup>臨時南洋西廻一離差立ノ事ニ致候就テハ本船來月十  
 日頃横濱ヨリ横須賀向回船積荷ノ上同月十四日出帆以下各地別紙  
 豫定表ノ通り行動爲致度候間此段御届申上候也

日本郵船株式會社

0308

日 月  
 移 起

郵務局  
 〇 月 日

南洋占領地航路  
 三池丸行勅定表

寄港地	横濱	横須賀	サイパン	トラック	ヤップ	パラオ	ヤップ	トラック	サイパン	横須賀	横濱	發着
	發	着	發	着	發	着	發	着	發	着	發	
	前	前	前	前	前	前	前	前	前	前	前	着
航海日取	六月十日	十月十日	十月十四日	十月十九日	十月廿三日	十月廿六日	十月廿九日	十一月一日	十一月三日	十一月六日	十一月十日	十一月十日

尚復航

南洋占領地航路三池丸行勅定表



經理局

軍務局

寫海軍省、横須賀海軍港務部、横濱支店

南海第三十九號

横須賀海軍鎮守府司令長官

日本郵船株式會社

名和又八郎殿

大正 奉 七月 十日

南洋交通船行動ニ關スル電報  
第一課  
第二課  
左記ノ通り御報告申上候

一、	一、	一、	一、	一、	一、	一、	一、	一、	一、
		臨時船	御吉野丸	松山丸	御吉野丸	松山丸	御吉野丸	松山丸	御吉野丸
		三池丸	ヤツプロ	サイパン	ヤツプロ	サイパン	ヤツプロ	サイパン	ヤツプロ
		横濱							
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
午	午	午	午	午	午	午	午	午	午
時	時	時	時	時	時	時	時	時	時
分	分	分	分	分	分	分	分	分	分
發	着	發	着	發	着	發	着	發	着

行動簿

0311

經理局接受 南洋交通船 9.7.15



寫海軍省、横須賀海軍港務部、横濱支店

行動簿濟

南海第三六八號

横須賀海軍鎮守府司令長官

日本郵船株式會社

名和又八郎殿

大正九年七月十九日

一、南洋交通船行動ニ關スル電報

左記ノ通り御報告申上候

七月十二日	午前十一時	〇分	着
七月十七日	午前十時	〇分	發

七月	月	日	午	時	分	發
七月	月	日	午	時	分	着

七月	月	日	午	時	分	發
七月	月	日	午	時	分	着

七月	月	日	午	時	分	發
七月	月	日	午	時	分	着

七月	月	日	午	時	分	發
七月	月	日	午	時	分	着

七月	月	日	午	時	分	發
七月	月	日	午	時	分	着

經理局

郵務局

0312

南洋交通船 局發受

軍務局

郵便局

軍務局

南洋占領地  
航路臨時船  
三池丸  
横濱出港御届

三池丸

横須賀、サイパン、トラツク、ヤツブ、  
バラオ向七月十日午后四時 横濱出帆

右御届申上候

大正九年七月十五日

日本郵船株式會社

男爵 近藤 廉平

海軍省經理局長 志佐 勝 殿

日本郵船株式會社

0313

南洋  
交通船

軍務局受

乙

經理局長

軍務局長

勝

第二課長

局長

局長

作中

海軍省

大正九年七月十七日 有副官

日本郵船会社

三池丸行動ニ関スル件

七月十七日 起 安

七月十七日 起 安

今迄ノ南洋臨時航三池丸行動中往來ハ行ニ定ル軍  
 航路ニ依ルセシメ又往來トラウチニテ松山丸ト連絡セシメ  
 之ニ對シテ南洋臨時航防ノ左ノ電報有之ニ由テ  
 一上ハ航路行動ニ關シテ南洋臨時航防ノ左ノ電報有之ニ由テ  
 又又  
 九  
 官房

官房

0314

海軍

軍第四一號

直下沈の給出の傳令のキアハバウチ揚ノ石炭減  
全放一行動より此の影響を以て見込らるる

大正九年七月十九日 軍務局長

横濱吹越の給出の傳令

各地九行動より見込

此の傳令は、我々一連の事柄あり、之より一連の事柄あり、  
以て各地の海軍に及ぶ

九中

(おれ二様)

七月十九日

◎ 右、留書あり

(誠心堂)

0315

大正九年七月十九日 軍務局 出  
 陽西島、大佐宛  
 電報一紙入  
 三島丸行郵件由東京一紙、西行一紙

七月十九日  
 七月十九日  
 七月十九日

海軍

0316

(甲)

軍務局長

第三課長

員 買 回 田

海

軍 〇 百 十五

軍務局接受

0317

大正九年

七月

十月

十日

日午

前

六時

〇時

一分

十分

局發

局著

局著

局著

局著

局著

受信者 軍務局長宛

電報譯

發信者 海軍省 海軍司令部 局長 宛

定 給炭ノ爲三池丸ヲ往航、於テウオレア  
 三寄港セシメ又松山丸ト連絡上場合ニ依リテ  
 ハ往航ニ於テトラックシ陸泊ヲ一日位延期セシ  
 大度目取元右ノ日數ハヤソフ、パソオ一  
 行勤中取り返シ得心見込右邊配慮  
 可也

(花崎納)

寫海軍省、横須賀海軍港務部、横濱支店

行動簿齊

南海第三六九號

横須賀海軍鎮守府司令長官

日本郵船株式會社

名和又八郎殿

大正九年七月廿四日

一、南洋交通船行動ニ關スル電報

左記ノ通り御報告申上候

軍務局

一、御吉野丸

七月十三日午後六時  
七月廿一日午前五時  
分着 二日早  
分發 二日早

第二課

御禮

一、	一、	一、	一、	一、	一、	一、	一、
月	月	月	月	月	月	月	月
日	日	日	日	日	日	日	日
時	時	時	時	時	時	時	時
分	分	分	分	分	分	分	分
發	着	發	着	發	着	發	着

第四課長

經理局

0318

9.7.28

寫海軍省、横須賀海軍港務部、横濱支店

行動簿

南海第三七〇號

横須賀海軍鎮守府司令長官

日本郵船株式會社

名和又八郎殿

大正九年七月廿六日

一、南洋交通船行動ニ關スル電報

記ノ通り御報告申上候

軍務局

一 松山丸

七月十九日午前九時

七月廿一日午後五時

分發 予定通

第二課

經理局

第四課長

一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
午	午	午	午	午	午	午	午	午	午
時	時	時	時	時	時	時	時	時	時
分	分	分	分	分	分	分	分	分	分
發	着	發	着	發	着	發	着	發	着

經理局接受 南洋交通船 9.7.28 局接受

0319







寫海軍省、横須賀海軍港務部、横濱支店

南海第三七三號

横須賀海軍鎮守府司令長官

日本郵船株式會社

名和又八郎殿

大正九年八月三日



一、南洋交通船行動ニ關スル電報

左記ノ通り御報告申上候

一、松山丸 七月廿九日 午前八時四十分 發着

一、松山丸 八月一日 午後十二時 發着

一、松山丸 八月三日 午後四時 發着

一、松山丸 八月五日 午後四時 發着

一、松山丸 八月七日 午後四時 發着

一、松山丸 八月九日 午後四時 發着

一、松山丸 八月十一日 午後四時 發着

一、松山丸 八月十三日 午後四時 發着

一、松山丸 八月十五日 午後四時 發着

一、松山丸 八月十七日 午後四時 發着

一、松山丸 八月十九日 午後四時 發着

一、松山丸 八月廿一日 午後四時 發着

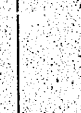
一、松山丸 八月廿三日 午後四時 發着

一、松山丸 八月廿五日 午後四時 發着

一、松山丸 八月廿七日 午後四時 發着

一、松山丸 八月廿九日 午後四時 發着

一、松山丸 八月卅一日 午後四時 發着



寫海軍省、横須賀海軍港務部、横濱支店

南海第三七四號

横須賀海軍鎮守府司令長官

日本郵船株式會社

名和又八郎殿

大正九年八月四日

一、南洋交通船行動ニ關スル電報

記ノ通り御報告申上候

郵務局

經理局

一、	一、	一、	一、	一、	一、	一、	一、
		第二課	三池丸	御吉野丸			
月	月	月	月	月	月	月	月
日	日	日	日	日	日	日	日
午	午	午	午	午	午	午	午
時	時	時	時	時	時	時	時
分	分	分	分	分	分	分	分
發	着	發	着	發	着	發	着

0323

縣井

經理局 9.8.6 接發

海軍省、横須賀海軍港務部、横須賀支店

南海第 三七五 號

横須賀海軍鎮守府司令長官

日本郵船株式會社

名 和 又 八 郎 殿

大正九年 八月 十日

一、南洋交通船行動ニ關スル電報

行動簿濟

左記ノ通り御報告申上候

一、三池丸「ヤツプ」

八月十八日 午前七時

八時 零 分着

第二課 事務

八月十八日 午前七時

零 分着

八月十八日 午前七時

零 分着

八月十八日 午前七時

零 分着

八月十八日 午前七時

零 分着

八月十八日 午前七時

零 分着

經理局

事務局

0324



經理局 9.8.12

9.8.12

南洋交通船株式會社

官海軍省、横須賀海軍港務部、横濱支店

南海第三七六號

横須賀海軍鎮守府司令長官

日本郵船株式會社

名和又八郎殿

大正九年 八月 廿二日

行動簿齊

一、南洋交通船行動ニ關スル電報

左記ノ通り御報告申上候

一	御吉野丸	八月 六日 午前 四時 分發	八月 九日 午前 一時 分着
二	三池丸	八月 七日 午前 八時 分發	八月 十日 午前 八時 分着
三	松山丸	八月 七日 午前 五時 分發	八月 十日 午前 八時 分着
四	御吉野丸	八月 六日 午前 四時 分發	八月 九日 午前 一時 分着
五	三池丸	八月 七日 午前 八時 分發	八月 十日 午前 八時 分着
六	松山丸	八月 七日 午前 五時 分發	八月 十日 午前 八時 分着
七	御吉野丸	八月 六日 午前 四時 分發	八月 九日 午前 一時 分着
八	三池丸	八月 七日 午前 八時 分發	八月 十日 午前 八時 分着
九	松山丸	八月 七日 午前 五時 分發	八月 十日 午前 八時 分着
十	御吉野丸	八月 六日 午前 四時 分發	八月 九日 午前 一時 分着
十一	三池丸	八月 七日 午前 八時 分發	八月 十日 午前 八時 分着
十二	松山丸	八月 七日 午前 五時 分發	八月 十日 午前 八時 分着

經理局

軍務局

0325

9 8. 14

寫海軍省軍務局第二課、横須賀港務部

南海第三七七號

横須賀鎮守府司令長官 日本郵船株式會社々長

名和又八郎殿

男爵 近藤 廉平

軍務局

經理局



大正九年八月十一日

第二課

Handwritten notes: 此船係元國向依此シタトノ 折込力減込ニシテ...

一南洋交通船御吉野丸及松山丸次回定期ノ件  
曩ニ南海第三六七號ヲ以テ南洋西廻交通船御吉野丸定期検査繰上  
執行ノ件御許可願出置候處御本省ヨリノ御申聞ケニ依リ次航更ニ  
「横須賀トク」間 航海定期踐行後迄検査延期ノ事ニ致候  
尙東廻交通船松山丸今復航横濱歸着ハ廿一日頃ノ豫定ニ有之候間  
次航横濱出帆御吉野丸ト相接近シ軍需品輸送上御差支モ可有之ト  
存候間兩船ノ間隔ヲ保ツ爲メ次航定期別紙ノ通り豫定シ依是行動  
致度候間何卒御認可被成下度此段御願申上候

日本郵船株式會社

0326



軍務局接受 八月十一日

追而御吉野丸ハ次航横濱着ノ上約十日間ノ豫定ヲ以テ定期検査  
執行可致候間豫メ御承知置被下度候

(終)

日本郵船株式會社

0327



南洋占領地航路

御吉野丸

第四回

横濱	横須賀	横濱	二見	サイパン	トラック	サイパン	二見	横須賀	横濱	寄港地
着	發着	發着	發着	發着	發着	發着	發着	發着	發	發着
後	後前	後前	後前	後前	後前	後前	後前	後前	前	着
						九月			八月	航海日取
廿四日	廿四日	廿四日 廿三日	廿日	十六日	十三日	八日	五日 四日	廿一日	廿八日 廿五日	

0328

南洋占領地航路

丸山松

廻東次七第

横濱	門司	二見	サイパン	トラック	ポナペ	クサイ	ヤールト	クサイ	ポナペ	トラック	ロタ	サイパン	二見	横須賀	横濱	寄港地
着	發着	發着	發着	發着	發着	發着	發着	發着	發着	發着	發着	發着	發着	發着	發	發
前	後	後前	前	後前	後前	後前	後前	後前	後前	後前	後前	未明前	前後	前	前	着
						十月								九月	八月	航海日取
廿三日	廿九日	十日	十日	廿九日	廿四日	廿三日	廿二日	廿八日	廿六日	廿四日	廿二日	廿一日	廿七日	廿六日	廿四日	廿一日

0329

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

八月廿五日  
公報  
局

軍務局

六七  
一七〇五

大正九年八月十日

横須賀鎮守府司令長官 名和又八郎

第二課



海軍大臣加藤友三郎殿

南洋交通船御去郵丸及松山丸

第四回行動豫定一件

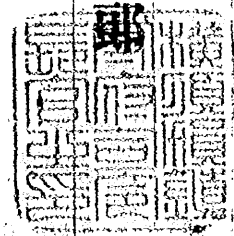
南洋交通船御去郵丸及松山丸第四回

行動ノ別紙一通豫定致候

右報告

別紙二葉添付

終



南洋

0330

海軍

横濱	横濱	横濱	二見	サイパン	トラツク	サイパン	二見	横須賀	横濱	地	南洋交通船 御吉野丸 第四回行動豫定表
二四日	二四日	二三日	二日	十六日	八日	九月四日	二日	八月五日	着	改元	
	二四日	二四日	二日	十六日	十三日	九月五日	二日	二八日	八月五日		

0331



南洋交通船 松山丸 第四回 行動豫定表												
地名	着	發	横濱	横須賀	二見	サイパン	ロタ	トウワ	ホナヤ	クサイ	ヤルート	クサイ
		八月五日	八月五日	九月六日	九月六日	十月十日	十月十日	十月十五日	十月十五日	十月十六日	十月十八日	十月二十日
		八月五日	九月四日	七月七日	十月十二日	十月十二日	十月十二日	十月二十日	十月二十日	十月二十日	十月二十日	十月二十日

0333

横濱	明司	二見	サイパン	トラウク	ホナペ
二十日	十九日	十六日	十二日	六日	十月三日
	二十日	十六日	十三日	九日	十月四日

終

注

目

0334

寫海軍省、橫須賀海軍港務部、橫濱支店

南海第三七八號

橫須賀海軍鎮守府司令長官

日本郵船株式會社

名和又八郎殿

大正九年八月十四日

一、南洋交通船行動ニ關スル電報

左記ノ通り御報告申上候

軍務部

御吉野丸二見

第二課

一、	一、	一、	一、	一、	一、	一、	一、
月	月	月	月	月	月	月	月
日	日	日	日	日	日	日	日
午	午	午	午	午	午	午	午
時	時	時	時	時	時	時	時
分	分	分	分	分	分	分	分
發	着	發	着	發	着	發	着

經理局 9.8.19 接受

0335



軍務局

經理局

寫海軍省、横須賀海軍港務部、横濱支店

南海第三七九號

横須賀海軍鎮守府司令長官

日本郵船株式會社

名和又八郎殿

大正九年八月十四日

一、南洋交通船行動ニ關スル電報

行動簿

在記ノ通り御報告申上候

一、御吉野丸二見

八八

一、第二課

月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
午	午	午	午	午	午	午	午	午	午
時	時	時	時	時	時	時	時	時	時
分	分	分	分	分	分	分	分	分	分
發	着	發	着	發	着	發	着	發	着

經理局 9.8.19 接受

0336

經理局

軍務局

寫海軍省、橫須賀海軍港務部、橫濱支店

南海第 三九號

橫須賀海軍鎮守府司令長官

日本郵船株式會社

名和 又八郎 殿

大正 九年 八月 十六日

一、南洋交通船行動ニ關スル電報

行動簿濟

左記ノ通り御報告申上候

一、松山丸ノ見

八月 十三日 午前 十時 後

〇分着 〇分發

第二課



一、

月 月 日 午 時 時

分發 分着

一、

月 月 日 午 時 時

分發 分着

一、

月 月 日 午 時 時

分發 分着

一、

月 月 日 午 時 時

分發 分着

經理局 9.9.21 接受

0337

軍務局

經理局

海軍省軍務局、横須賀港務部、横濱支店

南洋第三八一號

第二課

横須賀鎮守府司令長官

名 和 又 八 郎 殿

大正九年八月十六日

一、南洋交通船第四回松山丸豫定變更ノ件

機ニ南洋第三七七號ヲ以テ南洋交通船第四回松山丸定期御認可相

願置候處今般右定期表中一部改正致シ

復 就 第 六 卷 十 月 四 日

第 六 卷 十 月 五 日

以下各埠着候一日宛繰下ケノ事ニ定期變更致候間何卒御認可被  
成下度此段奉願上候也

日本郵船株式會社社長

男爵 近 藤 廉 平

軍務局長受  
9. 8. 19

南洋  
交通

9. 8. 19  
接 受

0338

日本郵船株式會社

南洋占領地航路

丸山松  
廻東次七第

横濱	門司	二見	サイパン	トラツク	ホナペ	クサイ	ヤールト	クサイ	ホナペ	トラツク	口夕	サイパン	二見	横須賀	横濱	寄港地
着	發着	發着	發着	發着	發着	發着	發着	發着	發着	發着	發着	發着	發着	發着	發	發着
前	後	後前	前	後前	後前	後前	後前	後前	後前	後前	後前	未明 前	前	後前	前	前
						十月								九月	八月	航海日取
廿四日	廿一日	廿七日	廿三日	廿七日	廿四日	廿二日	廿八日	廿六日	廿四日	廿五日	廿二日	廿二日	廿七日	廿六日	廿四日	廿一日

改正

寫海軍省、横須賀海軍港務部、横濱支店

南海第三八二號

横須賀海軍鎮守府司令長官

日本郵船株式會社

名和又八郎殿

大正九年八月十八日

一、南洋交通船行動ニ關スル電報

行動簿

左記ノ通り御報告申上候

松山丸「門司」

八月十八日午後一時

分着 〇分發

御吉野丸「門司」

八月十九日午後一時

分着 〇分發

第二課

印

八月十九日午後一時

分着 〇分發

八月十九日午後一時

分着 〇分發

八月十九日午後一時

分着 〇分發

八月十九日午後一時

分着 〇分發

經理局

郵務局

0340

9.8.20 接受

南洋通信局

寫海軍省、横須賀海軍港務部、横濱支店

南海第 號

横須賀海軍鎮守府司令長官

日本郵船株式會社

名 和 又 八 郎 殿

大正九年八月廿一日

一、南洋交通船行動ニ關スル電報

左記ノ通り御報告申上候

一、松山丸 第二課

天候不良ノ爲八月廿日清水ニ避難風次第出ス

一、三池丸「ヤッア」

八月二十一日午後五時

月 日 時 分 月 日 時 分

月 日 時 分 月 日 時 分

月 日 時 分 月 日 時 分

第四課長

經理局

軍務局

0341

南洋交通船

聯井

經理局接受 9. 8. 24

寫海軍省、横須賀海軍港務部、横濱支店

南海第三八四號

横須賀海軍鎮守府司令長官

日本郵船株式會社

名和又八郎殿

大正九年八月廿三日

一、南洋交通船行動ニ關スル電報

行動簿濟

左記ノ通り御報告申上候

軍務局

一、松山丸「横濱」

八月廿二日午前七時四十分着、八月廿三日午後四時三十分發

一、御吉野丸「横濱」

八月廿二日午後四時三十分發、八月廿三日午後四時三十分着

第二課

八月廿二日午後四時三十分發、八月廿三日午後四時三十分着

經理局

八月廿二日午後四時三十分發、八月廿三日午後四時三十分着

第四課長

八月廿二日午後四時三十分發、八月廿三日午後四時三十分着

0342



經理局接受



南洋

交通船

株式會社

寫、海軍省軍務局、横須賀港務部、横濱支店

南海第三八九號

日本郵船株式會社

男爵 近藤 廉平

横須賀鎮守府司令官

名 和 又 八 郎 殿

第二課

大正九年八月廿三日

一、南洋交通船第四回御吉野丸豫定變更ノ件

義ニ南海第三七七號ヲ以テ南洋交通船第四回御吉野丸定期御認  
可相願置候處本船今帆横濱ニテ機關修繕ノ箇所有之爲廿五日出

帆難出來相成候間



横濱發

八月廿八日

横須賀發

同 卅一日

以下各地發着三日宛線下ケノ事ニ定期改正致度候ニ付何卒御認  
可被成下度此致奉願上候也

經理局

軍務局

日本郵船株式會社

0343

南洋交通船株式會社 經理局 9. 8. 25



八月二十日  
八報  
付

軍務局

六七二四三

大正九年八月十九日

横須賀鎮守府司令長官 名和又八郎

海軍大臣加藤友三郎殿

第二課

南洋交通船松山丸第四回行動豫定中変更ノ件

南洋交通船松山丸第四回行動豫定中左記ノ通變更

致候

右報告ス

左記

ホト着十月三日四日ニ發四日ヲ五日ニ改メ以下各地着

發日宛線下ク

終

海軍

軍務局發

0344

經理局

軍務局

寫海軍省、横須賀海軍港務部、横濱支店

南海第三八六號

横須賀海軍鎮守府司令長官

日本郵船株式會社

名和又八郎殿

大正九年八月廿三日

一、南洋交通船行動ニ關スル電報

行動簿濟

左記ノ通り御報告申上候

一、	一、	一、	一、	一、	一、	一、	一、
				松山丸	橫濱	第二課	橫須賀
				八月廿三	八月廿三	八月廿三	八月廿三
				日午	日午	日午	日午
				時	時	時	時
				分	分	分	分
				發	着	發	着

0345

9. 8. 27

經理局

軍務局

寫海軍省、橫須賀海軍港務部、橫濱支店

南海第三八七號

橫須賀海軍鎮守府司令長官

日本郵船株式會社

名和又八郎殿

大正九年八月廿四日

一、南洋交通船行動ニ關スル電報

行動簿濟

左記ノ通り御報告申上候

一、	一、	一、	一、	一、	一、	一、	一、
				第二課	松山丸	橫須賀	橫須賀
月	月	月	月	月	月	月	月
日	日	日	日	日	日	日	日
午	午	午	午	午	午	午	午
時	時	時	時	時	時	時	時
分	分	分	分	分	分	分	分
發	着	發	着	發	着	發	着

0346

9. 8. 27

南洋交通船

軍務局接受

八月廿五日  
台報  
付

軍務局

第...  
...  
...

大正九年 八月二十五日

橫須賀鎮守府司令長官 名和又八郎

海軍大臣 加藤友三郎 殿

第二課

南洋交通船街吉野丸等四回行動豫定變更件

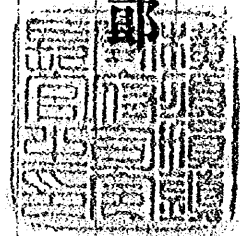
南洋交通船街吉野丸等四回行動豫定左記

通變更致候

右報告ス

左記

横濱發八月二十五日  
八月二十八日  
改×以下各  
地着發三日完錄下ク



軍務局  
九月廿七日

0347

經三局

軍務局



寫海軍省軍務局、横須賀港務部、横濱支店

南海第三八號

横須賀鎮守府司令長官 日本郵船株式會社々長

名和又八郎殿 男爵 近藤 廉平

第二課

大正九年八月廿八日



南洋交通船第四回松山丸豫定變更ノ件

南海第三七七號ヲ以テ南洋交通船第四回松山丸定期御認可相

願處修繕都合上豫定通りノ日取ニ出帆離出來不得已

横濱發 九月二日

横須賀 九月六日

以下各地發着二日宛繰下々ノ事ニ定期變更致慶候ニ付何卒御認可  
被成下度此致奉願候也

日本郵船株式會社

經理局長

0348



9. 9. 8

寫海軍省、横須賀海軍港務部、横濱支店

南海第

三八九號

横須賀海軍鎮守府司令長官

日本郵船株式會社

名和 又八郎 殿

大正 年 月 日

一、南洋交通船行動ニ關スル電報

左記ノ通り御報告申上候

行動簿濟

軍務局

第二課

御吉野丸可横濱

御吉野丸可横濱

月 月	月 月	月 月	月 月	月 月	月 月	月 月	月 月
日 日	日 日	日 日	日 日	日 日	日 日	日 日	日 日
時 時	時 時	時 時	時 時	時 時	時 時	時 時	時 時
分 分	分 分	分 分	分 分	分 分	分 分	分 分	分 分
發 着	發 着	發 着	發 着	發 着	發 着	發 着	發 着

第四課長

經理局

0349

9.9.2



寫海軍省、横須賀海軍港務部、横濱支店

南海第三九二號

横須賀海軍鎮守府司令長官

日本郵船株式會社

山屋 他人 殿

大正九年 九月 四日

行動簿

一、南洋交通船行動ニ關スル電報

記ノ通り御報告申上候

一、御吉野丸二見

九月 三日 午後 四時 〇分 着

一、第二課

九月 三日 午後 四時 〇分 着

九月 三日 午後 四時 〇分 着

九月 三日 午後 四時 〇分 着

九月 三日 午後 四時 〇分 着

九月 三日 午後 四時 〇分 着

0351

9.9.8

接受



九月二日  
公報  
110

軍務

之七 通令

大正九年 九月 一日

横須賀鎮守府司令長官 山屋 他

海軍大臣 加藤 友三郎 殿

加

第二課

待

同

同

南洋交通船 松山丸 等 四回 行 動 豫 定 變 更 件

南洋交通船 松山丸 等 四回 行 動 豫 定 變 更 件

更 致 候

右 報 告 ス

左 記

横濱 發 八月三十一日 九月二日 以下各地 着

發 二日 完 繰 下

海 軍

交通船

軍務局 受

九月一日

0352 旨

